

本学の学生にとって4年間の集大成ともいえるべき国家試験を来年2月に控え、各学科専攻では国家試験対策模擬試験も始まり臨戦モードに突入しています。各学科専攻の国家試験対策委員に年間の主な取り組みを聞きました。

国家試験突破へ臨戦態勢 各学科専攻の取り組み

【医学検査学科】三者面談で不安や悩み解消

学生の不安・悩みを解決できるよう2019年度より学生とSG担任、国家試験対策委員による三者面談を実施しています。面談で多かった意見や補講内容の希望調査を参考に、学生のニーズに合わせた補講内容となるよう工夫しています。

<担当者ひと言>

先生によって様々な思い入れがあると思いますが、共通しているのは、「全員合格できますように!」「勉強してきた努力が実りますように!」という気持ちです。学生の頑張る姿を間近で見ているので、親心のような気持ちで学生を送り出しています。

【看護学科】ニーズに合った補講実施

補習講義は、希望する講義内容を学生がとりまとめ、教員に依頼する仕組みを取っています。また、成績不振者には個別面談も実施しています。

<担当者ひと言>

持っている力、これまでの頑張りを発揮できるように、体調を崩さないように、緊張や焦りをできるだけほぐして臨めるように、準備を整えて欲しいと思います。また、看護師・保健師という人々の生命、生活、健康に関わる責任ある資格をとるんだという自覚をもって試験に臨んで欲しいと思います。

試験に向けて見送る学長と医学検査学科教員ら 2月16日



【リハ理学療法学専攻】毎週末に確認テスト

理学療法学専攻では、長期実習が始まった5月から、毎日の小テストと毎週末の日曜確認テストを実施。11月からはチーム毎の勉強会を開始します。

<担当者ひと言>

全員合格を目指して、教員サイドも真剣に問題づくりを行っています。

【リハ生活機能療法学専攻】12月には特別講義実施

生活機能療法学専攻では、4~8月まで基礎学力準備期として解剖や運動学、病理などの学習・復習を徹底。9月からは本格的な対策を始め、12月中旬からは特別講義を実施しています。

<担当者ひと言>

国家試験対策の勉強は“個人戦”です。しかし、これまで辛かった臨床実習などを共に乗り越えてきた仲間たちとチャレンジする試験であるからこそ“団体戦”で臨んでいる気持ちを大切にしたいです。みんなで合格!みんな笑顔で卒業!お互いを支えにして頑張りたいです。

◆国家試験情報◆

日程(令和4年)	種類	合格発表
2月10日	助産師	3月25日
2月11日	保健師	3月25日
2月13日	看護師	3月25日
2月16日	臨床検査技師	3月23日
2月19日	言語聴覚士	3月25日
2月20日	理学療法士	3月23日
2月20日	作業療法士	3月23日

【リハ学科言語聴覚学専攻】夏期、冬期に特別講座

4~7月に国家試験担当教員による講義を週3回実施。夏期特別講座(6コマ)も開講しています。9~10月には成績が低迷する学生に対し過去問指導を行っています。11~2月には、過去問指導のほか、冬期特別講座(10コマ)で万全を期しています。

<担当者ひと言>

試験当日は、大学の模擬試験と比べて緊張すると思いますが、普段通りの力を出せるように落ち着いて問題を解いてほしいです。

図書館・学術研究部主催の「サイエンスカフェ」が10月19日（火）、キャンパステラスであり、リハビリテーション学科生活機能療法学専攻の松尾崇史講師が「プリズム順応の臨床応用」と題して研究発表を行いました。Zoomを含め計21人が参加。

プリズムによって視野を平行にずらし視覚目標に向かって手を伸ばすと、初めは誤差が生じますが、試行を繰り返すと修正されていきます。これがプリズム順応です。プリズム順応は、脳の損傷によって生じる半側空間無視という症状に対するリハビリに取り入れられています。

松尾講師は、プリズム順応の汎用性の高さに着目、特に聴覚に対する影響を中心に研究を続けています。発表では、参加者にプリズム順応を体験してもらいながら、先行研究の紹介やその応用などについて発表。その後、会場との活発な意見交換が行われました。
(安部悠介)



プリズム順応を体験する参加者。左端は松尾講師

私の秘話
★
ヒストリー

吹奏楽部の思い出

私は、中学、高校、大学で吹奏楽部に所属していました。大学に進学した当初は、「大学では真面目に勉強しよう」と思い、吹奏楽を続けることは考えていませんでしたが、キャンパスで聴こえてくる吹奏楽の音色の誘惑に負け、大学1年生の夏休み前に吹奏楽部に入部、その後は、学生生活の中心が吹奏楽になりました。今と違い冷房のなかった場所での夏の練習は、暑かった記憶しかありません。夏のコンクール前には合宿もあり、朝から晩まで練習しました。同級生と合宿所を抜け出してかき氷を食べに行ったこともありました。大学3年生までは、一緒に看護を学んでいた同級生よりも、吹奏楽部で活動をとともにした人たちと過ごした時間の方が長かったように思います。「楽しかったなあ」と今も振り返る、学生時代の思い出です。



看護学科
荒尾博美教授

銀杏アラカルト

◆ 高校生アスリート支援をTVで紹介

本学が取り組むスポーツヘルスサイエンス事業が4日（木）、テレビ熊本のTKUライブニュースで紹介されました。同事業は、保健科学に関する専門的な知識と技術をスポーツアスリート支援に活かそうというもので、支援ニーズがある場所へ積極的に出向いています。今回は、水上村のスカイヴィレッジで行った高校生アスリート支援を紹介。本学PTの松原誠仁准教授、鐺木誠講師、OTの益満美寿准教授が高校生アスリートのフォーム解析や体力測定を行う様子が放映されました。



TKUのホームページに掲載されているYouTube動画

4年生ピア・サポーター感謝の会に参加した学生と教職員



4年生ピア・サポーターの労をねぎらう

10月28日（木）、来春卒業する4年生のピア・サポーターへの感謝の会が1303M講義室であり、後輩代表らが4年生22人の労をねぎらいました。

檜原真二学生相談・修学サポートセンター長から感謝状と記念品を贈呈された後、看護学科4年有働亜未さんが「活動を通して、本学の良さを他者へ伝えることにやりがいや楽しさを感じ、自信につながりました。コロナ

禍でもできる活動を模索し、充実した時間を過ごせました。今後もぜひ活動を続けてください」と、後輩にメッセージ。後輩代表の医学検査学科2年片平帆風さんが「活動時はいつも優しい言葉をかけていただきました。国家試験に向けて勉強等大変かと思いますが、先輩方の夢が叶うよう願っています」と感謝の言葉を述べ、竹屋学長からも労いと激励の言葉がありました。

（学生相談・修学サポートセンター）

今週の1枚



見事な山芋が取れました

5日（金）、本学アリーナ裏の園芸施設で見事な山芋が取れました。農家の緒方秀治、美代子さん夫妻が収穫し、一部を分けてくれました＝写真。緒方さん夫妻には1年契約で園芸農園の手入れをお願いしています。

インフォメーション

記事募集

「週刊NEWSLETTER」では随時記事を募集しています。取り上げてほしいテーマやイベント等がありましたらご連絡ください。

連絡先：企画・人事課 安部 内線：1244 Email：abe.y01@kumamoto-hsu.ac.jp

週間行事予定（11月13日～19日）

11 / 14（日）	井芹川流域周辺大清掃
11 / 15（月）、16（火）	学校推薦型選抜 業務説明会